

臨床研究「新規・再発直腸癌に対する陽子線治療の治療成績・毒性・予後因子についての検討」について

筑波大学附属病院放射線腫瘍科では、標題の臨床研究を実施しております。
本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

直腸癌に対する陽子線治療の成績・毒性・予後因子について後方視的に検討する

② 研究対象者

2001年から2018年までに当院で陽子線治療を受けた直腸癌の患者さん

③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2022年3月31日まで

④ 研究の方法

上記期間に当院陽子線治療センターで治療を受けた患者さんの全生存率や局所制御率を検討する。また治療中・治療後の有害事象について解析する。治療時の年齢や腫瘍の局在といった患者背景と総線量などの解析から、生存率・局所制御率などの予後因子を検討する。

⑤ 試料・情報の項目

電子診療録、紙媒体の診療録、線量分布図、CT/MRIなどの画像情報、生死の日付、再発の有無、有害事象のグレード

⑥ 試料・情報の第三者への提供について（該当する場合は記載）

なし

⑦ 試料・情報の管理について責任を有する者

筑波大学附属病院 放射線腫瘍科 教授 櫻井英幸

⑧ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑩ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：放射線腫瘍科 担当 廣嶋悠一

電話 029-853-7100

対応可能時間 平日9～17時